

フジテコム PL-960/1000



PL-960



PL-1000

鉄管・ケーブル探知器

水道管、ガス管、各種ケーブルの位置、方向を探知および深度を計測します。

型式	PL-960				PL-1000			
◆送信器								
周波数	27kHz	83kHz	MIX	334kHz	83kHz	27kHz	8kHz	MIX
最大出力(誘導法)	0.5W	0.5W	—	—	0.5W	0.5W	—	—
最大出力(直接法)	3.0W	3.0W	—	3.0W	3.0W	3.0W	3.0W	—
使用温度範囲	0~50℃				-10~55℃			
電源	単一乾電池×8本							
電池寿命	誘導法(最大出力時):約20時間				誘導法(最大出力時):約10時間			
	直接法(最大出力時):約10時間				直接法(最大出力時):約10時間			
寸法	288(W)×241(D)×105(H)mm							
重量	約2.5kg							
◆受信器								
受信周波数	27kHz、83kHz、334kHz、 RADIOモード(15kHz~25kHz)				83kHz、27kHz、8kHz、 RADIOモード(15kHz~25kHz)			
使用温度範囲	0~50℃				-10~55℃			
電源	単三乾電池×6本							
電池寿命	無信号時:約8時間				無信号時:約10時間			
	スピーカ音量大、バックライトON時:約5時間				スピーカ音量大、バックライトON時:約8時間			
寸法	131(W)×280(D)×610(H)mm							
重量	約2.0kg							

最大法



受信器がパイプラインの直上点にある状態を表示しています。

最小法



受信器がパイプラインのどちら側にあるかを表示しています。

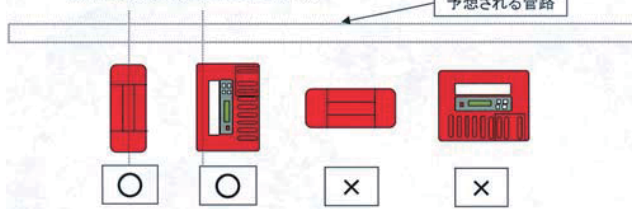
深度表示



パイプラインの中心までの深度をデジタル表示します。

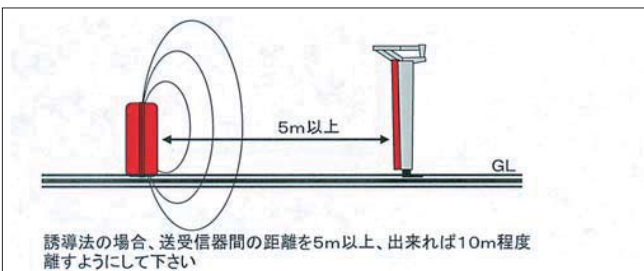
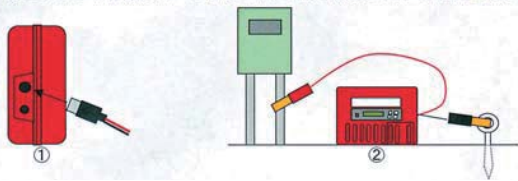
■送信器の使用方法(誘導法)

送信器の持ち手(又はその延長線上)が予想される管路に対して直角に交わるように地面に置きます。



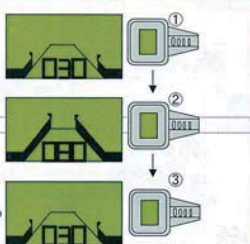
■送信器の使用方法(直接法)

続いて送信器を設置します。付属の直接法用コードを送信器側面のコネクタに接続します。①配管につながって露出している部分(メーターの立上りやバルブ等)に赤のクリップを接続し、アース棒を地中に差して黒のクリップを接続します。②



誘導法の場合、送受信器間の距離を5m以上、出来れば10m程度離すようにして下さい

必要に応じて▲▼を押して感度調整をしながら、予想される管路を横断するように受信器を動かします。



最も液晶画面が上がるピーク点②が配管の直上です。

液晶中央に「OVER SIGNAL」と表示されている場合は、感度を下げてください。

続いて深度測定です。前述で位置探査した配管の直上②で▲を押します。

しばらくすると液晶画面に「PULL UP」と表示されますので、フットプレートを踏んで、持ち手を止まるまで真っ直ぐに引上げると液晶画面に深度が表示されます。



付属品	送信器、受信器、旗、アース棒、直接法コード
消耗品	
オプション品	PL-960 : 外磁コイルφ75、外磁コイルφ100、ゾンデ
オプション品	PL-1000: 外磁コイルφ100
備考	